

# Rikkyo Club of Executives & Professionals

## 立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：大塚裕司 編集人：松原伸禎 事務局：TEL.03-3985-3135 <https://www.r-keizaijin.net/>

### 新春賀詞交換会



2022年2月3日（木）、毎年恒例となる「新春賀詞交換会」が開催されました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大につきリアルでの開催を断念し、初めてオンライン配信形式にて実施いたしました。今回は会員に加え、大学・校友会関係者に案内を送付し、62名の出席をいただきました。

配信は18時より開始され、品川総務委員長による司会の下、物故者への黙祷から始まりました。新型コロナウイルスの影響により、2020年以降会合が開けておらず、物故者へのご冥福をお祈りする機会がありませんでした。今回は2020年以降にお亡くなりになられた方を偲び、黙祷が捧げられました。

次に大塚裕司会長より、新年のご挨拶をいただきました。まず、参加者への感謝の言葉と、「いよいよ動き出すというタイミングでコロナの影響を受けています。周年行事も含め、リアルでの開催ができず、オンライン配信が続いています。会として会員の皆様にとどのくらいお役に立てることがあるかどうかについて、非常に悩ましく思っております。」と述べられました。また、「コロナウイルスの影響で仕事の進め方を含め、色々と変わっていかねばならない。国内でもデジタル庁が発足し、様々なシーンで電子化が進むでしょう。電子帳簿保存法改正の影響もあり、デジタルを使って経済をどれだけ効率化するかという意味では待ったなしの状態です。難しい状況ではありますが、立教らしくお互いを助け合いながら、こうした情報を含め、会員に向けて様々な情報を発信できる会でありたい。」と今後のクラブ運営についてもお言葉をいただきました。

続いて、ご来賓を代表して、和田成史立教大学校友会会長よりご挨拶をいただきました。「2024年の立教大学院創立150周年に向け、校友会と大学が一体となって進めている事業に『立教箱根駅伝2024』があります。

年明けの箱根駅伝では観光学科4年の斎藤選手が関東学生連合チームの主将として本戦の往路第3区を走りました。チームとしても予選会の最初の5km時点のトータルタイムで1位通過するなど見せ場を作り、最終順位が16位と昨年から大幅に順位を上げ、順調に育てばチームでの本戦出場にも期待が持てる状況です。この事業で寮を作り、上野監督を招聘し、ハード面、ソフト面共に充実してまいりました。事業開始より3年経ちましたが、校友会の目標金額まであと一歩です。是非ご協力をお願いします。チーム立教として盛り上げていきたいと思っております。」と期待をにじませました。

次に、戸井田和彦立教学院理事長よりお言葉をいただきました。「150周年記念事業の一環である募金活動の経過として、2021年度で募金金額の合計が30億円を超える見込みです。中でも一昨年コロナウイルスが蔓延し始めた際には校友の皆様から約2億5千万円のご寄付を頂戴しました。お陰様でそのご寄付を頂いた中で、他大学に先駆け奨学金という形で全学生に対し一律5万円を給付したり、いち早くオンライン授業の実施に踏み切るなど、高校の進路指導教員約2000人が行う大学評価の中で新型コロナウイルス対策について、先進的な取り組みを行っているという評価で立教大学は第2位になりました。その成果もあり、昨年の志願者は大幅増となりました。コロナ対策をうまく乗り切ることができるのではと思っています。150周年に向け引き続きご協力をお願いします。」と見通しを示されました。

基調講演の部では、2021年4月より第22代立教大学総長に就任されました西原廉太先生に「立教大学の中期計画」と題して約1時間にわたりご講演をいただき、2024年に向けて大きく変わっていく母校に対して期待が大きく膨らんだ事を感じさせる内容となりました。（講演内容は次ページ） —松原 伸禎 H12史一

## 新春賀詞交換会 基調講演

講師：立教大学第22代総長 西原 廉太



2021年4月に立教大学第22代総長に就任いたしました、西原です。今回ご紹介する中期計画は2022年度から2026年度まで、5年間分の中期計画をまとめまして、部長会、理事会などでも承認をいただいたものです。2022年の7月1日に大学運営の基本方針を発表しましたが、それを元に策定しています。領域としては教育発展・研究活動・学生支援・社会連携／社会貢献等、全部で9領域、27事業の中期目標と具体的計画をまとめたものです。その中で4つの重点事業を定めましたので、その概略を中心にお話をしたいと思います。

### ■ RIKKYO Learning Style 第2ステージの推進

RIKKYO Learning Styleとは学士課程教育です。私は第20代吉岡総長の時に副総長を務めており、教育改革を担当していました。そこで立教大学の学士課程教育の新たなステージを提案し、2016年度から新しいRIKKYO Learning Styleとしてリベラルアーツ教育を実現するための根幹となるプラットフォームを開始し、2020年度に完成年度を迎えました。それを更にブラッシュアップをしていきたいということで、第2ステージを推進してまいります。目的としてはリベラルアーツ教育の進化を掲げ、「世界をよりよく認識し、読み解き、そして働きかけ、変えていける」学生を育てる、としています。

具体的にはリベラルアーツの実質化ということでキャリア教育の発想を学士課程教育に導入し、いわゆる4年間の意図を明確にします。入学して1年次の春学期をファーストタームプログラムとして、初年次教育、導入時教育の充実を図ります。そこでリベラルアーツの基礎を学び、学

び方の「型」、学ぶとはどういうことかを徹底して身に付けてもらおうと考えています。立教大学は「自由の学府」であり、自由に学ぶことは大学の使命でもあります。自由に学ぶための基本をこの時期に覚えてもらう、ということです。その型を得た後、自由な学びで自身のテーマを発見し、それを深めてもらえればと思います。1年次の秋学期から3年次に至るまでを形成期とし、3年次の後半から4年次を完成期と呼んでおり、導入から完成までに期を分け、それぞれに目標を設定しており、麓から頂上を目指すようなちょうど山登りのイメージを学生たちに伝えています。

### ■ 国際化事業

2つ目の重点事業として国際化事業についてお話しします。この度立教大学は文部科学省の2021年度の「大学の世界展開力強化事業」に採択されました。この事業は日本の大学が世界各国の大学との制度的連携関係を構築することを目的としています。この事業の2021年度の公募テーマが「アジア高等教育共同体の形成促進」とされており、7件の大学が採択され、うち私立大学で採択されたのは本学のみです。すでに別途採択されております、「スーパーグローバル大学創成支援事業」と並び、本学の国際化推進にとっては大変貴重な機会を得ることができたと認識しています。

この事業において本学はアジアの最高峰の大学の一つであるソウル大学、北京大学、シンガポール国立大学と共に、国際共同教育のためのアジア4大学コンソーシアム(The ACE)を設立し、東アジア、ASEAN地域

におけるリベラルアーツ教育の発展を共に推進していきたいと思っています。このテーマ自体は本学の建学の精神や教育理念と合致するものであり、言わば「リベラルアーツ×国際化」ということで本学の教育特色を更に拡充できると期待しています。このような事業に取り組んでいくことで本学の教育全体を新たなステージに移していけるだろうと、考えています。

### ■スポーツウエルネス学部・研究科新設

3つ目として、スポーツウエルネス学部・研究科新設についてご説明します。現在、コミュニティ福祉学部の中にスポーツウエルネス学科がありますが、こちらを2023年4月よりスポーツウエルネス学部として独立、新設させる予定です。合わせて、コミュニティ福祉学部の再編も行います。目的としてはこれまでの教育・研究をさらに発展させ、ウエルネス社会の構築に寄与する高度なスポーツウエルネス学の知見と能力を有する人材を育成することを目的としています。コロナ禍においてますます健康福祉に対するニーズは世界的に高まっており、良いタイミングではないかと考えています。

### ■情報戦略 2.0 の推進

4つ目として、情報戦略 2.0 の推進についてお話しします。こちらの目的は情報インフラの整備、学生の利便性向上、教職員の働き方改革推進、高次な情報活用形組織への発展など、教育・研究・組織運営の高度化となります。

具体的な取組内容としては表に示した通り、大学教育はもちろん、小学校から、中高、大学までの一貫連携教育、研究・学術、組織運営といった4領域にまたがり、現在、立教小学校、両中高、大学と、学院内のシステムがそれぞれ個別のものとなっています。これらを共通プラットフォームにすることにより、効率化を図っていきたいと考えています。

### ■池袋キャンパスの学生数増加

東京 23 区内にある大学には定員抑制の規定があり、自由に定員を増やすことができない状況が続いています。そんな中、池袋キャンパスの学生数が 1,200 名増やせることになりました。同じ聖公会系、同じ創立者の学校法人である立教女学院の短期大学がこの度残念ながら募集停止になりました。そこで、立教女学院短大の定員枠

1 学年 300 名を女学院との連携の中で協定を結び、立教大学に定員枠を譲っていただいたという経緯です。女学院短大の入学定員は 300 名でしたが、4 年制大学の本学への移行で、300 名×4 年で 1200 名の学生を池袋キャンパスに増やすことができました。

そこで現在表に示したように、池袋キャンパスにおける新しい学部構想を進めています。現状では情報社会デザイン学部（仮称）という名称で文理融合型の新学部を検討しています。また、異文化コミュニケーション学部の入学定員増加と、外国人留学生の受け入れ拡大にも増加枠を使用したいと考えています。

### ■施設整備構想・計画

施設整備構想ですが、施設整備を戦略的に推進していきたいと考えております。

「キャンパスメーキング基本構想」として、キャンパス価値の向上と「教学発展の将来構想・計画」との連動を目的としています。新座キャンパスでは先ほどお伝えしたスポーツウエルネス学部・研究科への対応があり、池袋キャンパスでは定員増による新しい学部設置構想への対応を行っていきます。

池袋キャンパスでは、2035 年度までの第一期整備計画として、新 9 号館（仮称）、新ミッチェル館（仮称）、新 5 号館（仮称）を建設予定です。新座キャンパスでは、大学プールの跡地に新座新棟（仮称）の建設を予定しています。

創立 150 周年に向け、「学校教育の進化」と「一貫連携教育の進化」を柱に教育発展事業を展開してまいります。是非こうした大学発展の構想実現のため、経済人クラブの皆様にもご協力を賜りたいと思っていますので、ご支援のほどよろしく願いいたします。

—松原 伸禎 H12史—

## 第3回 勉強会

講師：株式会社テーブルクロス 代表取締役 城宝薫

2022年1月25日(火)19:00よりオンライン(Microsoft Teams)を利用して本年度第3回目の勉強会が行われました。今回は立教大学3年時に株式会社テーブルクロスを設立された城宝薫氏(平28会)に「企業とSDGsの関わり方～利益の創造と社会貢献を両立するビジネス～」と題してご自身が立ち上げたテーブルクロスのビジネスモデルの紹介から、事例に基づいたSDGsの関わり方についてご講演いただきました。

今回はSDGsに関心を寄せる会員の皆様にご参加頂き、とても大変有意義なオンライン勉強会となりました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございます。また次回もより多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

城宝薫様は、2012年に立教大学経済学部に入學し、大学3年生(2014年)のときに株式会社テーブルクロスを設立されたそうです。同社は、食と子ども達、そして地域創生をビジネステーマにしており、SDGsでいえば「1 貧困をなくそう」「4 質の高い教育をみんなに」に取り組まれているそうです。

株式会社テーブルクロスはプラットフォームの運営会社であり、プラットフォーム利用者が食べた食事を通じて、世界の裏側の子ども達に食事を届けようというコンセプトで事業をされています。具体的には、テーブルクロスというグルメアプリと、byfood.comというグローバル向けのインバウンドメディアの2つを運営し、それらのプラットフォームを通じてお客様が飲食店を予約すると、NPO法人を通じて、途上国の子ども達に給食が届くというシステムになっています[図1参照]。現在では、全国一万店舗ほどの飲食店のネットワークがあり、また、全国地方自治体とも連携しながら、魅力的な商品開発をし、日本全国各地のローカルな商品や未開拓地域の飲食店を紹介するなどして地域創生にも貢献しているとのことでした。

株式会社テーブルクロスでは、現在までに、カンボジア、フィリピン、ミャンマー、南スーダン、ネパール、ケニア等9か国に給食支援を行い、現在は、南アフリカの真ん中ぐらにあるマラウイという国の給食支援に取り組んでいるとのことでした。

マラウイでは、[写真]の女性が注いでいるパラ粉と呼ばれる黄色いもので給食が支給されています。約15円の給付支援金で一食分の提供ができるそうで、株式

会社テーブルクロスの運営するプラットフォームで100人予約すると約1000食の給食を届ることができるとのことでした。

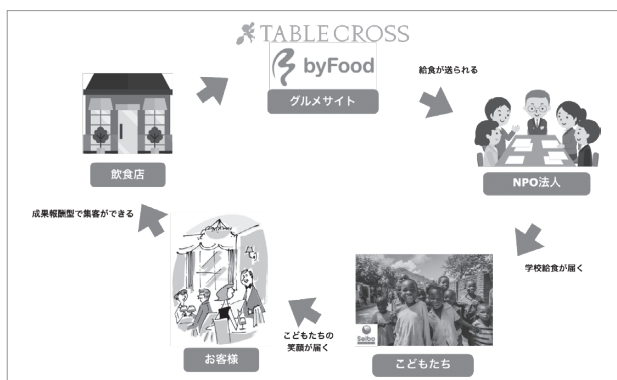
また、給食支援は、子どもたちが学校に通うきっかけを作りにもなるとのことでした。途上国の子どもたちにとってみれば、読み書きや社会のマナーを学ぶよりも、ごみ拾いをして明日食べるためのお金を稼ぐこと、おうちのお手伝いをするのほうが重要で、それらを優先しがちになるそうです。しかし、学校に給食があることで、お父さんやお母さんから学校に行ったら給食を食べてきなさいと言われてもらえるようになるそうです。給食を食べた後、子ども達が席について勉強する習慣をつけていくことで、読み書きがだんだんできるようになり、現に、ケニアの州の自治体の報告によれば、各州の学校に給食を支給した結果、識字率が高まったとのことでした。

株式会社テーブルクロスでは、今後、グローバルに進出して、日本の地方のものを海外でも売れるような環境づくりをしていくことが重要だと考えているとのことでした。

現在は、日本の地方地域と海外をつなぐ役割を担うため、日本の商品をアメリカやヨーロッパに売り出すためのeコマースの領域にも取り組み始められたそうです。

このような取り組みを通じて、もっと多くの子ども達に給食を支援し、もっと多くの地域創生に貢献するグローバル企業を目指したいとのことでした。

—菅原 清暁 H12心—



## information 経済学部インターンシップ支援

2021年9月17日に、会員企業5社に受け入れのご協力をいただきました。経済学部との産学連携事業「インターンシップ」について、参加した科目履修学生8名全員が実習を完了しましたのでご報告いたします。

学生の報告書が経済学部のキャリア教育サイトに掲載されました。ぜひ、参加学生がどのように感じたか等をご覧いただくと同時に、経済学部のキャリア教育の取り組みについても紹介されておりますのでご覧ください。

ご協力いただきました会員企業の皆様には心より御礼申し上げますと同時に、引き続き、インターンシップへのご協力をお願い申し上げます。 一林 雄太 H7営一

受け入れのご協力をいただきました企業・団体様の一覧

企業名	受入人数
アイペット損害保険株式会社	2名
株式会社大塚商会	2名
株式会社企業変革創造	1名
株式会社コミュニティセンター	1名
株式会社フジタ	2名

### ■ 経済学部キャリア教育サイト「STORY」

<https://www.rikkyo.ac.jp/eco/career/story/>

立教大学 | 経済学部キャリア教育  
RIKKYO UNIVERSITY

立教大学経済学部 | お問い合わせ |

文字サイズ 小 中 大



## グルメ会

2022年3月16日(水)三井グループの会員制倶楽部、綱町三井倶楽部にて、グルメ会を開催しました。感染対策チェックシートを導入の上、入口での検温・消毒や換気をはじめ、抗原検査も実施しコロナ感染拡大防止対策も万全にいたしました。

大正2年竣工、明治・大正建築史上貴重な建造物であるルネサンス様式を基調とした宮殿造りの館・綱町三井倶楽部は、緑豊かな庭園に囲まれ、館内にはロダンの彫塑、ターナー、サー・トーマス・ローレンス、ドービニー、ニコラス・マースの油絵等の逸品があり、室内の家具、什器、その他の調度品等もそれぞれ他に比類を見ない豪華な場所でした。

当日は、挨拶と乾杯からスタートし、お料理は正統派のフランス料理。アミューズ、カツオの炙り・ニンニクとトマトのリゾット添え、コンソメスープ、オマール海老のヴァブールとシャンピニオンのフラン、黒毛和牛ロース肉のステーキ、ライチとフランボワーズのガトー・薔薇のジュレとピンクグレープフルーツソルベ、コーヒー・小菓子と、伝統を感じられる美味しいお料理でした。

食後は、特別に地下にあるワインセラーを見学させてい

ただきました。フランスワインを中心に、約12,000本の名品が保管されており、そのステータスの高さは他に類を見ないほどの内容で、まるで博物館のよう、参加者みな驚嘆するばかりでした。

普段は入れない特別な空間を利用・見学させていただいたこと、改めて感謝申し上げます。

グルメ会は、食事をとりながらということもあり、リラックスした雰囲気の中、新たな出会い・交流ができるイベントです。今後も様々趣向を凝らした、楽しい企画を計画しておりますので、参加をお待ちしております。

—小田切 理沙 H21法—



# 建学の精神をたづねて

～キエフに想いを寄せて 平和を祈る～

神保町シンクタンク 黒田裕治 (1978年3月 法学部卒)

プロフィール/1955年7月4日 広島県尾道生まれ。立教高等学校 立教大学を経て、近畿日本ツーリスト株式会社に勤務。2012年、独立して安曇野シンクタンク創立に加わり、現 神保町シンクタンクを主宰。トラスポヘルスケア販売株式会社創立

ロシアは2022年2月24日にウクライナへ軍事侵攻をしました。攻撃は、長期にわたるウクライナ国境周辺への軍事力の増強、ロシアによるドネツク人民共和国とルガンスク人民共和国の国家承認、2月21日のウクライナ東部のドンバスへのロシア軍の派遣を経て始まりました。そして今、原子力発電所を攻撃するという暴挙に世界を震撼させています。

ウクライナ、正式国号は「Україна」でこの地域(国)はキリスト教の歴史を知る上で大変重要な地域となります。そして今回のウクライナとロシアの軍事衝突の背景の一つにロシア正教内の確執もありそうです。

さて、今回の「建学の精神をたづねて」はキリスト教が日本に入ってきた歴史(正確にはキリスト教3大宗派がどのように布教してきたか)を辿って参ります。

## ①キリスト教

イエスキリストとその弟子たちが建てた「キリスト教」は後にローマ帝国の国教になりましたが、ローマ帝国の東西に分裂に伴い、教会も東西に分かれます。やがて別々の教義を持つようになり、1054年に相互破門して、「東方教会」と「西方教会」に分裂しました。これを大シスマといいます。(ラテン語で分裂という意味)「東方教会」が今の「正教会」で、ロシア正教・ギリシア正教などの「○○正教」と呼ばれる教派です。「西方教会」はその後、マルティン・ルターの宗教改革により、「カトリック」から「プロテスタント」が分かれました。(他の教派もあり)ざっとまとめれば「東が正教会、西がさらに分かれてカトリックとプロテスタント」ということになります。

「カトリック」と「プロテスタント」は「西方教会」の教派ですが、ローマ教皇の扱いに相違があります。カトリックではローマ教皇を教会のトップで

あり、特別な存在であると扱いますが、プロテスタントでは「人間は神様以外みんな同じ」と考えるのでローマ教皇を特別な存在として扱うことはありません。マリアについても、同じ理由でプロテスタントでは「イエス様を産んだとはいえ、1人の人間でしかない」と捉えるのに対し、カトリックでは「聖母マリア」という特別な存在として捉えます。ですから教会に行ってみて、マリア像があったらカトリックの教会、なかったらプロテスタントの教会と判断することもできます。さて、3大キリスト教の1つが正教会(東方正教会とも言う)。主に国家単位、民族単位で独立し、ギリシャ正教会・ロシア正教会は全世界で2億人の信者がおります。少し遡ると4世紀の教父大アファナシーが「オルトドクシア/正教」という言葉を初めて使い、正教会の父と呼ばれています。988年にキエフルーシがロシア正教の洗礼を受け、ロシア正教元年としました。1988年大々的な1000年祭を行っています。(キエフルーシのルーシがロシアの語源という説あり)

## ②日本伝来

1) カトリックはご存知の通り、フランシスコザビエルによって、戦国時代に日本に伝えられました。彼はスペインのバスク地方出身のイエズス会であり、日本に初めてキリスト教を伝え、東洋の使徒といわれました。1549年(戦国時代)に鹿児島に上陸し、以後滞在2年余のうちに平戸や山口などで伝道に励み、500人以上に洗礼を授けました。1551年には、大友宗麟の招きにより、大分市に来て布教活動を行っており、1553年には、府内教会が建立されています。

2) プロテスタントは我が立教の創立者、東京に伝道の拠点に移したウィリアムズは、1874年築地居留地に私塾「立教学校」(のちの立教大学)を開く。また、婦人教育を行うことも必要だと考えたウィリアムズは、1872年に女学校を設立する構想を提示し、1877年にはブランシェにより湯島に立教女学校(の

ちの立教女学院)が設立される。立教学校は1880年にはジェームズ・ガーディナーを校長に迎え、新校舎の建造を進め、1883年に米国式カレッジである立教大学校を開設する。1890年11月1日には、ウィリアムズの要請により「愛恵病院」(英語名:Tokyo Dispensary)を設立する。この病院はのち、ルドルフ・トイスラーが1901年2月21日に設立する「聖路加病院」となった。横浜では1863年にヘボンの開いた横浜英学所(ヨコハマ・アカデミー:1880年に築地居留地に移転して築地大学校となる)。1887年に東京一致英和学校(築地大学校の後身)・東京英和予備学校と統合した上で白金に移転して明治学院、フェリス女学院が誕生する。新島襄が1875年に開いた同志社英学校の同志社大学、W・S・クラーク(William Smith Clark)札幌農学校(現在の北海道大学)もこの頃である。

### 3) 明治時代のカトリック

1872年にはプティジャン司教の招きによってフランスからサン・モール会(現:幼きイエス会)が招かれている。1878年にはシャルトル聖パウロ修道女会が来日、函館に仏蘭西女学校を開設し、1882年には神田教会の敷地内に孤児院や小学校を建てた。同学校は白百合学園へと発展していく。1913年に上智大学を開いている。

### 4) ロシア正教会

ニコライ・カサートキンが1861年来日し、函館の領事館付き修道司祭に着任したのが嚆矢である。1872年に神田駿河台の土地2300坪を得て、宣教の拠点とした。1874年5月には布教会議が東京で開催される。1911年、ニコライが大主教に昇叙された年には、日本正教会の教勢は教会数265箇所、信徒数31,984名、神品数41名、聖歌隊指揮者15名、伝教者121名に達した。これは当時の日本にあって、カトリック教会に次ぐ規模であった。日本に入って来たキリスト教3大分派はそれぞれの場所で仲良く定着しています。一方、旧ソ連時代にはウクライナ派とロシア派の東方正教会の確執が今日の紛争に影を落としているやに見えます。(真相はわかりませんが)

## ②ロシアの闇に挑む立教大学教授

日本アンチ・ドーピング規律パネル委員長で、スポーツ仲裁裁判所(CAS)仲裁人も務める、立教大

学法学部教授で弁護士の早川吉尚氏が17日、TBS「ひるおび!」(月～金曜前10・25)に出演。昨年12月のドーピング違反が発覚しながら北京五輪出場継続が認められ、フィギュアスケート女子SPで1位となったカミラ・ワリエワ(15、ロシア・オリンピック委員会=ROC)について言及しました。米紙ニューヨーク・タイムズ(電子版)によると、ワリエワからは禁止薬物トリメタジジン以外に、心臓疾患の治療に使用される「ハイポキセン」「L-カルニチン」が検出されたことが明らかになった。ともに禁止物質ではないが、ダイエット効果がある「L-カルニチン」は注射などによる制限値を超えた投与は禁止。心臓への酸素供給を助ける「ハイポキセン」は全米反ドーピング機関(USADA)が最近、禁止薬物指定を訴えて実現しなかった。USADAのタイガート委員長は3種類の薬を組み合わせた服用の利点を「持久力の向上、疲労の軽減、酸素消費効率の促進」と説明。世界反ドーピング防止機構(WADA)は、2種類の薬物検出はトリメタジジンを誤って摂取したとのワリエワの主張と合わない指摘している。

早川氏は、国際私法や国際民事訴訟法においては「公序」や「条理」「実質再審査禁止の原則」などの曖昧模糊とした概念や原理原則が多数存在している。当面はそうした概念や原則の明確化の作業を行い、論理構築のため本当に用いることができるものは何なのかを探っていきたいと考えているそうです。頼もしいですね。

駆け足で日本への布教を迎ってみましたが、日本国内では仲良く共有している宗教がなぜ中欧ヨーロッパでは歪みあっているのでしょうか。罪のない人や幼子が被災されている映像を見るたびに心が痛みます。このエッセイが届く頃には紛争が収まっている事を切に望みます。

### 参考

Wikipedia、TV番組「ひるおび!」立教大学HP 同志社大学HP ハリストス日本正教会HP

# 新しく会員になられた方々

(敬称略)

## 五十嵐 仁 H4 産業関係

扶桑化学(株) 代表取締役社長  
〒141-0031 品川区西五反田 1-20-7  
TEL: 03-3493-0005  
FAX: 03-3493-5668  
E-Mail: j-igarashi@fusou-chemical.co.jp  
工業用ゴム・樹脂製品の製造、販売

## 岩山 靖宏 S63 経済

(株)清水銀行 代表取締役頭取  
〒424-8715 静岡市清水区天神 1-8-25

## 植田 剛将 H25 法

野村証券(株)  
〒100-8130 千代田区大手町 2-2-2  
TEL: 03-3211-1811  
証券

## 熊谷 征男 S44 経済

(株)システナ 最高顧問  
〒105-0022 港区海岸 1-2-20  
汐留ビル 14F 03  
TEL: 03-6367-3840  
ソフト開発 IT企業(東証一部)

## 笹本 尚宏 H3 経営

みずほ銀行 執行理事エリア長  
〒100-8241 千代田区丸の内 1-3-3  
TEL: 03-3214-1111  
E-Mail: naohiro.sasamoto@mizuho-bk.co.jp  
金融

## 冨塚 優 H63 法

(株)イオレ 代表取締役社長  
〒108-0074 港区高輪 3-5-23  
KDX 高輪台ビル 9F  
TEL: 03-4455-7092  
FAX: 03-5793-3533  
E-Mail: s-tomizuka@eole.co.jp  
インターネット広告

## 堂面 洋平 H14 物理

きわみアセットマネジメント(株) IFA 事業部  
〒101-0043 千代田区神田富山町 5-1  
ビジネスキューブ 5F  
TEL: 03-6260-8153  
FAX: 03-6260-8163

## 松尾 大輔 H7 産業関係

RSK パートナーズ(株) 代表取締役社長  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 3-3-3-603  
TEL: 03-4455-4709  
E-Mail: matsuo@rskpartners.jp  
M&A アドバイザリー事業、投資事業など

## 山崎 雄一郎 H8 法

日立金属(株) 機能部材事業本部 鉄道営業部  
鉄道インフラグループ長  
〒108-0075 港区港南 1-2-70  
品川シーズンテラス  
TEL: 03-6774-3599  
FAX: 03-6774-4300  
E-Mail: yuichiro.yamazaki.yc@hitachi-metals.com  
電線メーカー

## 吉田 進之介 H21 社会

Pendo.io Japan (株) 営業部長  
〒150-6139 渋谷区渋谷 2-24-12  
渋谷スクランブルスクエア 39  
階 WeWork  
E-Mail: shinnosuke.yoshida@pendo.io  
IT サービス

## 第2回 理事会

2021年11月5日(金)に第2回理事会が開催されました。今回もコロナ禍のため、国際文化会館とオンラインのハイブリットでの開催となりました。現地には大塚会長をはじめ、理事、顧問、各委員長の方々、オンラインでは理事、顧問、委員長の皆様にご参集いただきました。理事会では、大塚会長のご挨拶から始まり、本年度活動の中間の報告、さらに、10月に行われた創立40周年記

念式典の実施報告を行いました。理事・顧問の皆様からもコロナ禍の中、昆実行委員長をはじめとした実行委員の皆様へねぎらいのお言葉を頂戴いたしました。終了後、現地にご参加いただいた皆様には、今回も呉先輩の新橋亭のお弁当を召し上がっていただき、解散となりました。

—品川 高穂 H8経—

## 編集後記

この記事を書いている3月20日では、気温も上がり少しずつ春めいてきました。世間は、また震度6の地震が起り、ロシアは未だにウクライナに進行中。コロナも、3度目のワクチンが実施されています。将来が予測できない状況の現代はVUCAとも表現されます。先が見えないからこそチャレンジが大切というセリフがTVからは聞こえてきますね。さてこのチャレンジという言葉は10代20代の特権と想像してしまいがちですが、日本の歴史上でチャレンジに「遅すぎる」はないと教えてくれた偉人がいたのはご存知でしょうか。江戸後期、日本ではじめて実測地図を作成した伊能忠敬です。彼は49歳で本格的に天文学や暦学などを学びはじめ、55歳で測量の旅へ。そして55歳から71歳までの17年間にわたり、日本全国を測量しています。4月はそんな伊能忠敬が長き測量の旅をはじめた月でもあるそうです。そして商売繁盛を招く福の鳥といわれるツバメも南の国からやってきます。チャレンジを楽しみ、福の鳥と戯れながら今年も当クラブを楽しんでいきたいと思ひます。立教に乾杯!

—村上 直人 H6立高一—